

# アクアプラン川口 21～第3次川口市水道ビジョン～改訂 (案) の概要

## 章構成及び改訂のポイント

- 第1章「アクアプラン川口 21～第3次川口市水道ビジョンの改訂にあたり」
  - …改訂の趣旨について説明
- 第2章「水道事業のあゆみ」
  - …令和5年度末時点の内容となるよう数値等修正。
- 第3章「現状評価と課題」
  - …令和5年度末時点の内容となるよう文章、数値、グラフ等修正。
- 第4章「水道事業の将来像」
  - …「計画人口」「計画給水人口」「計画一日給水量」について、新たな人口推計及び水需要予測の結果を踏まえた数値に見直し。
- 第5章「基本理念の実現に向けて」
  - …第1期(令和元年度～令和3年度)及び第2期(令和4年度～令和6年度)の実績を踏まえ、事業計画及び事業目標を見直し。
- 第6章「経営戦略」
  - …事業の進捗状況と物価等の変動及び水需要や人口の動向を見据えた財政収支を把握し、経営戦略に反映。
- 第7章「計画の進捗管理」
  - …修正なし

## 「1」 改訂の趣旨

計画期間の第2期(令和4年度～令和6年度)が終了することから、これまでの事業の進捗状況や水需要の動向、社会情勢の変化等を踏まえ、必要な見直しを行うもの。  
 なお、この度の改訂においては、埼玉県営水道の料金改定にかかる増額分は見込まないものとする。

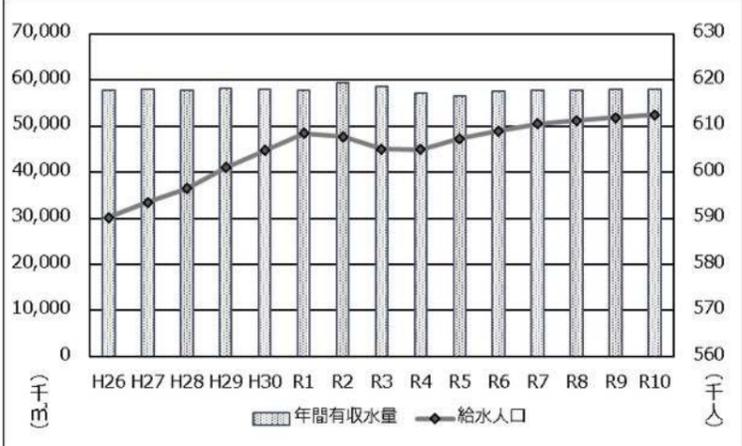
## 「2」 計画期間

令和元年度から令和10年度までの10年間  
 (見直し期間は令和7年度から令和10年度までの4年間)  
 ※計画の運用にあたっては、計画期間を第1期(令和元年度～令和3年度)、第2期(令和4年度～令和6年度)、第3期(令和7年度～令和10年度)に区分し、進捗管理を行っている。

## 「3」 主な改訂(見直し)の内容

### 第3章 現状評価と課題

#### 1 水需要の動向 ■P7～P8



#### 4 災害対策・危機管理

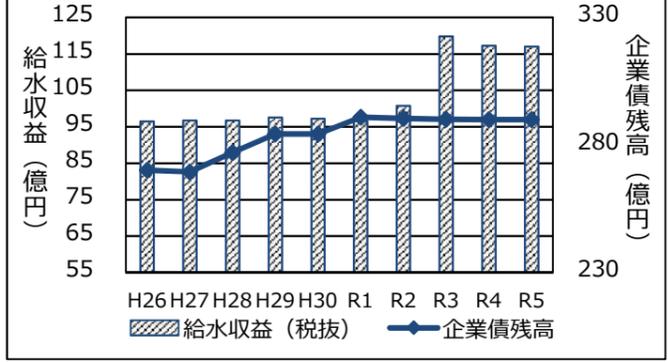
##### 一 水道施設の耐震化 ■P18～P19

※( )内は改訂前計画値

	R1 実績	R5 実績	R10 計画値
基幹管路耐震管率(%)	81.34	85.49	88.36
配水管全体耐震管率(%)	22.72	27.48	34.06

物価の高騰等の影響により、令和5年度末時点での実績は計画値を下回っているが、今後はペースを緩めず工事を進めるものとして計画。

#### 7 経営の健全化 ■P27～P31



### 第4章 水道事業の将来像

#### 3 計画の概要 ■ P35～P37

R1 : 行政人口 608,390人 給水人口 608,385人  
 R5 : 行政人口 607,279人 給水人口 607,276人  
 (改訂前推計 611,438人)

	計画値(R10)	改訂前(R10)
計画給水区域	川口市全域	川口市全域
計画行政人口	612,424人	614,174人
計画給水人口	612,424人	614,174人

R1 : 一日平均給水量 175,077 m<sup>3</sup>  
 一日最大給水量 187,764 m<sup>3</sup> (R1.12.31)  
 R5 : 一日平均給水量 170,500 m<sup>3</sup>  
 (改訂前推計 180,000 m<sup>3</sup>)  
 一日最大給水量 181,810 m<sup>3</sup> (R6.1.14)

計画一日給水量		
計画値	計画値(R10)	改訂前(R10)
一日平均給水量	174,100 m <sup>3</sup> /日	177,800 m <sup>3</sup> /日
一日最大給水量	185,700 m <sup>3</sup> /日	193,400 m <sup>3</sup> /日
期間内最大値	改訂期間内最大値(R7)	改訂前(R4)
一日平均給水量	174,400 m <sup>3</sup> /日	180,200 m <sup>3</sup> /日
一日最大給水量	186,000 m <sup>3</sup> /日	196,000 m <sup>3</sup> /日

#### 4 SDGs との関係について ■ P38～P41

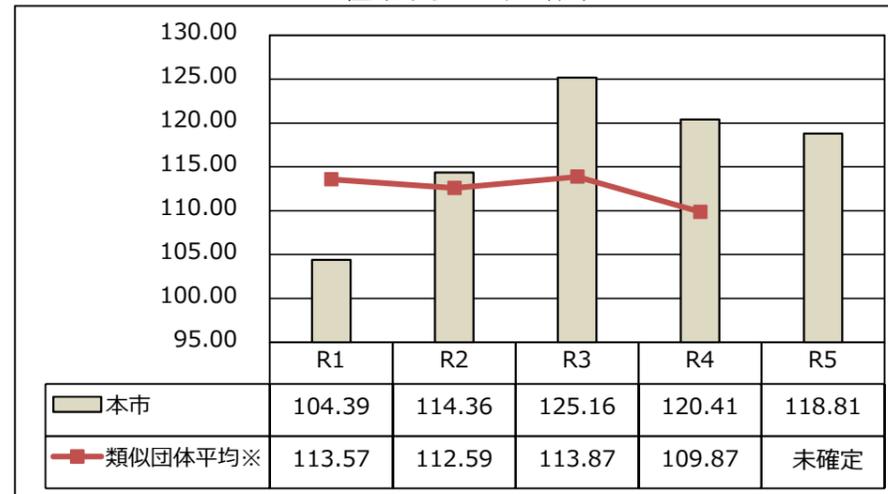
基本政策及び施策に関連するSDGsの各ゴールを明記。これにより、SDGsの達成に資するよう、各事業を推進していくものとする。  
 ※SDGs = Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標

第6章 経営戦略

4 経営指標による現状分析 ■P94~P102

☞経営指標とは…各公営企業における経営及び施設の状態を表す指標で、国（総務省）が定めるルールに基づき算出し、結果を「経営比較分析表」として公表しているもの。

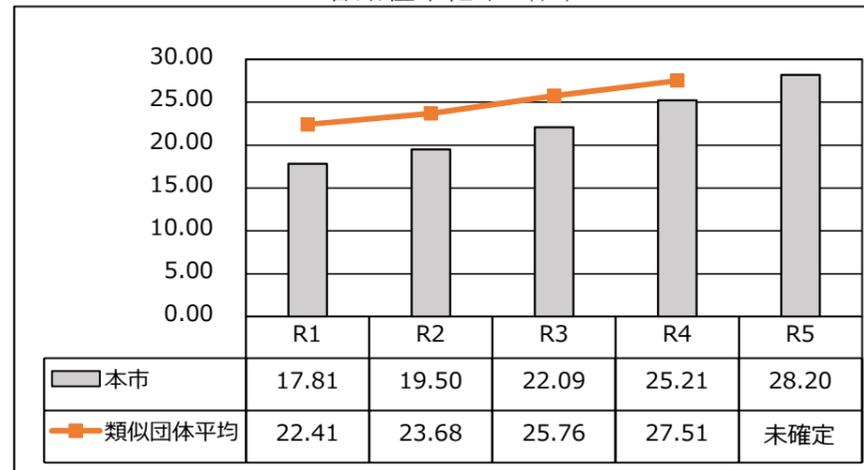
経常収支比率（％）



※類似団体…上水道事業者のうち、給水人口規模が30万人以上の末端給水事業者

経常収支比率（給水収益やその他の収益で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄っているかを表すもの）は、令和3年1月の水道料金改定による給水収益の増加などにより改善が図られたが、再び下降傾向にある。

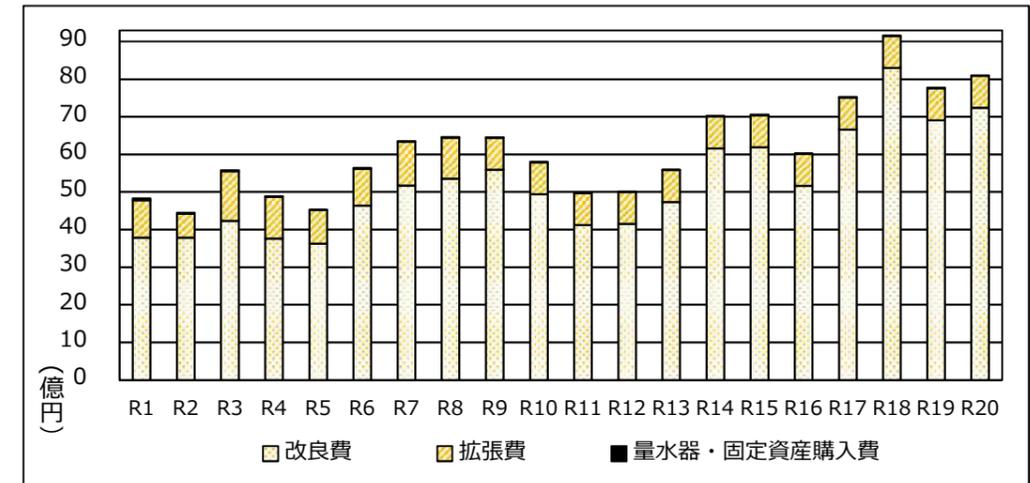
管路経年化率（％）



管路経年化率（法定耐用年数を超えた管路の割合）は年々上昇している。また、今後、法定耐用年数40年を超えて更新時期を迎える管路が増加することは確実であるため、計画的かつ効率的な更新に取り組むことが必要である。

8 投資・財政計画 (1) 投資・財源試算 - ア投資試算

…(ア) 建設改良費 ■P107



建設改良費の見込み額

[改訂前] R7~R10 計 約 256.7 億円 ⇒ [改訂後] R7~R10 計 約 250.6 億円

…令和8年度からの6か年継続事業として計画していた鳩ヶ谷浄水場施設更新工事を改訂期間以降へ延期したこと等により、浄配水場施設更新費約44.8億円の支出が後ろ倒しとなった一方で、配水管布設工事等に係る経費が大幅に増加したものの。

(1) 投資・財源試算 - イ財源試算 ■P109~110

…(ア) 給水収益

人口の増加幅が緩やかになっており、有収水量の増加も見込んでいないことから、改訂期間中はほぼ横ばいの見込み。

9 経営目標（指標） ■P115

☞水道事業の運営において、経営の健全化が保たれているか否かを測るために設定

財政指標	
当年度純利益の確保	黒字経営を維持する 経常収支比率の改訂期間内平均を115%以上とする
現状値	R1：516,519千円 R5：2,074,780千円
企業債残高の抑制	改訂期間各年度の企業債残高対給水収益比率を250%以下に保つ
現状値	R1：301.13% R5：247.69%
投資指標	
[管路の計画的な更新・耐震化]	
①基幹管路の耐震管率	①目標年度（R10年度）まで90%を目指し上昇させる
②管路更新率	②改訂期間内平均を1.00%以上とする
現状値	① R1：81.34% R5：85.49% ② R1：1.01% R5：0.96%

# 川口市公共下水道事業経営戦略改訂（案）の概要

## 改訂のポイント

- ▶ 「経費回収率の向上に向けたロードマップ」の見直し  
…経費回収率（汚水処理に要する経費を下水道使用料収入でどの程度賄えているかを示す指標）の向上に向け、収支構造の適正化に関する具体的取組みや業績指標について検討を行うもの。なお、社会資本整備総合交付金の交付要件を満たす検証とするもの。

## ＜1＞ 改訂の趣旨

平成31年4月の企業会計移行を受け、令和4年3月に企業会計方式に基づく見直しを行ったが、今年度、これまでの事業の進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、アクアプランと併せて改訂を行うもの。

なお、この度の改訂においては、埼玉県流域下水道の維持管理負担金及び建設費負担金の改定にかかる増額分は見込まないものとする。

## ＜2＞ 計画期間

10年間（令和元年度から令和10年度まで）

（見直し期間は令和7年度から令和10年度までの4年間）

## ＜3＞ 現状分析（主な指標）

	本市	類似団体平均	指標の説明
企業債残高対事業規模比率(%)	551.12	481.88	使用料収入に対する企業債残高の割合
水洗化率(%)	94.35	97.53	処理区域内で下水道に接続している人口の割合
管きよ老朽化率(%)	19.96	12.40	法定耐用年数を超えた管きよ延長の割合
管きよ改善率(%)	0.12	0.16	当該年度に更新した管きよ延長の割合

※令和4年度決算での比較

＜4＞ 主な見直しの内容 … 現行計画の構成を保ちつつ、総務省の「経営戦略策定・改定ガイドライン」に沿って、内容の見直しを行うもの。

## 第4章 事業概要 ■P2-P16

### 1 事業の現況

令和5年度末時点の内容になるよう修正

### 3 経営比較分析表を活用した現状分析

令和元年度～令和5年度の実績に修正

## 第5章 将来の事業環境 ■P17-P18

### 1 処理区域内人口及び水洗化人口の予測

	R1 (実績)	R5 (実績)	R10	R20	R30
処理区域内人口(人)	532,753	539,247	553,141	570,361	580,930
水洗化人口(人)	504,610	508,752	523,085	542,565	553,952

### 2 有収水量及び下水道使用料収入の見直し

	R1 (実績)	R5 (実績)	R10	R20	R30
有収水量(m <sup>3</sup> )	51,641,936	51,043,066	51,331,390	51,816,687	51,920,413
下水道使用料収入(千円)	5,872,050	5,793,993	5,826,626	5,881,712	5,893,486

## 第6章 経営の基本方針 ■P19-P20

ビジョンの施策を実現するための建設投資額の実績及び計画値を記載（算定中）

## 第7章 投資・財政計画（収支計画） ■P21-P43

投資・財源について実績及び計画値を記載（算定中）

- ・投資にかかる下水道事業の概要

※R1・R5は実績、R10は計画値。（ ）内はR4.3改訂版の計画値。

### ① 下水道（汚水）整備

【下水道処理人口普及率】

R1 : 87.57%	R5 : 88.80% (88.89%)	⇒ R10 : 90.3% (90.5%)
-------------	-------------------------	-----------------------

### ② 浸水対策

浸水被害が大きい地域を中心に下水道（雨水）整備を実施。

### ③ 地震対策

【重要な幹線等の耐震化率】

R1 : 54.5%	R5 : 55.0% (56.8%)	⇒ R10 : 57% (59%)
------------	-----------------------	-------------------

【マンホール浮上防止対策率】

R1 : 50.2%	R5 : 63.8% (58.4%)	⇒ R10 : 66% (63%)
------------	-----------------------	-------------------

【ポンプ場の耐震化率】

R1 : 23.8%	R5 : 47.6% (33.3%)	⇒ R10 : 62% (81%)
------------	-----------------------	-------------------

【マンホールトイレ設置率】

R1 : 33.7%	R5 : 65.4% (65.4%)	⇒ R10 : 100% (100%)
------------	-----------------------	---------------------

### ④ 管路施設の改築

【改築済み延長累計】

R1 : 51.6 km	R5 : 61.7 km (61.8 km)	⇒ R10 : 78.4 km (75.8 km)
--------------	---------------------------	---------------------------

### ⑤ ポンプ場機械設備の改修

【着工済施設数】

R1 : 0 施設	R5 : 5 施設 (5 施設)	⇒ R10 : 6 施設 (7 施設)
-----------	---------------------	---------------------

### ⑥ 流域下水道建設費負担金

過去の実績に基づき算定（算定中）

## 第8章 経営戦略の事後検証、改訂（改定）等に関する事項 ■P43

計画の定期的な改訂（改定）について記載。

下水道事業評価とあわせローリングを実施することにより、PDCA サイクルによる継続的な改善を図りつつ、概ね3年から5年ごとの適切な時期に計画の改訂（改定）について検討を行う。

## 第9章 経費回収率の向上に向けたロードマップ ■P44

「経営健全化に関する指標」等、現行計画で掲げている項目を基に内容を更新。